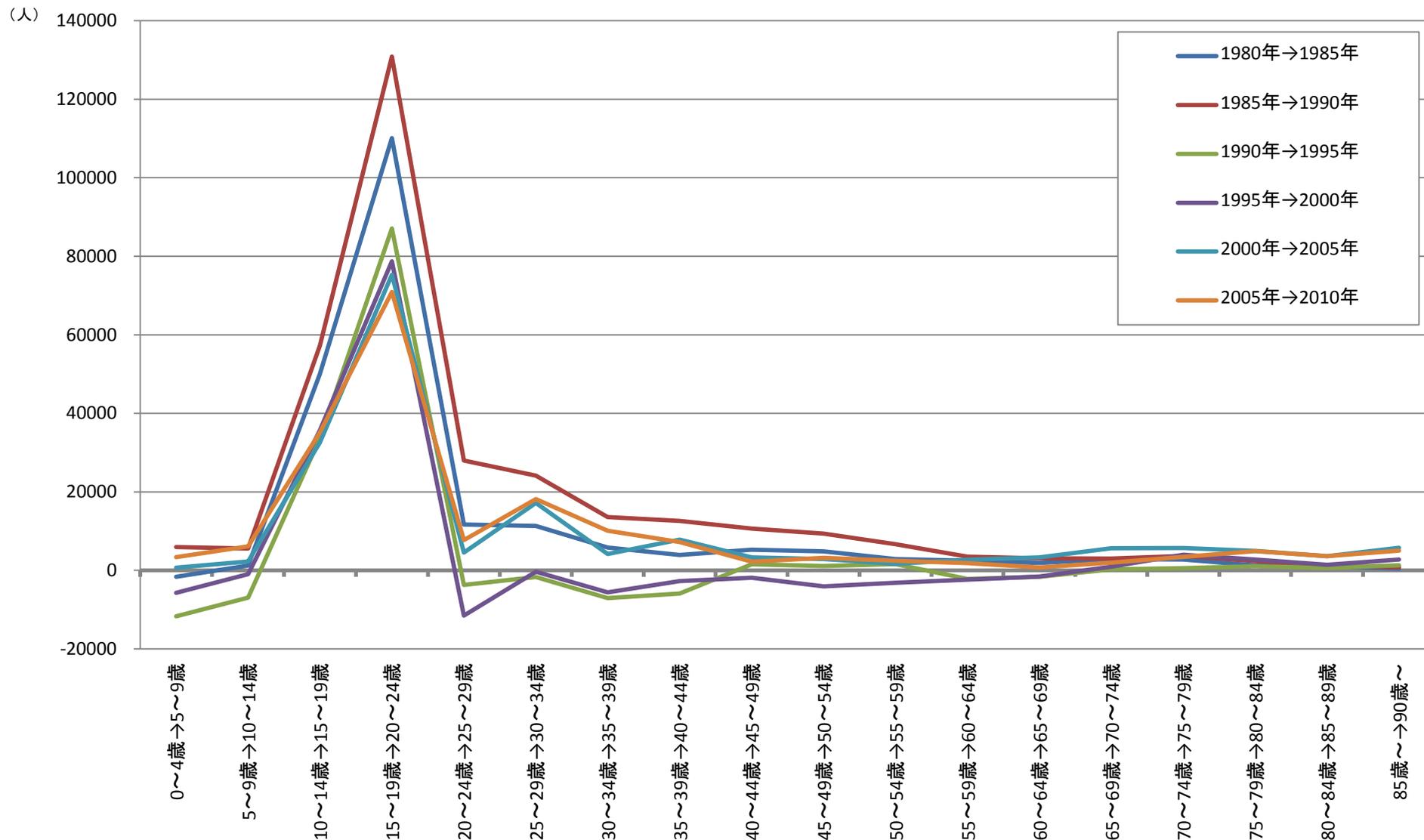


# 図1 神奈川県内の性別・年齢階級別の人口移動状況の長期動向

基本目標2 参考資料2  
神奈川県への新しいひとの流れを作る

10代後半、20代前半の若年層の転入超過は長期的な傾向となっている。

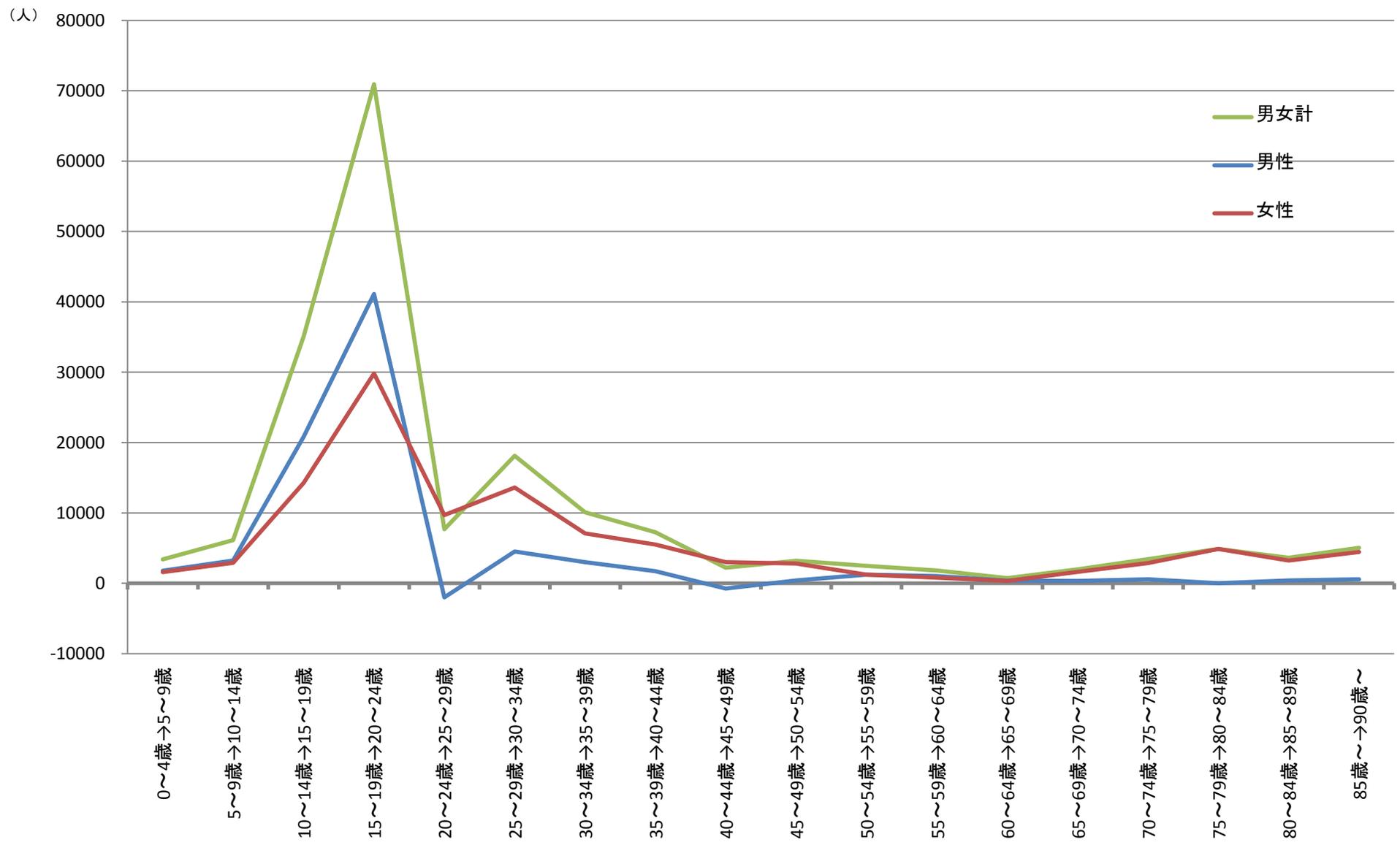


(総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」から内閣官房が推定した数値を基に作成)

**基本目標2**  
**神奈川への新しいひとの**  
**流れを作る**

## 図2 神奈川県内の性別・年齢階級別の人口移動状況(2005年→2010年)

10代後半、20代前半の若年層で転入超過が際立っているが、男性の方が女性より振れ幅が大きい。

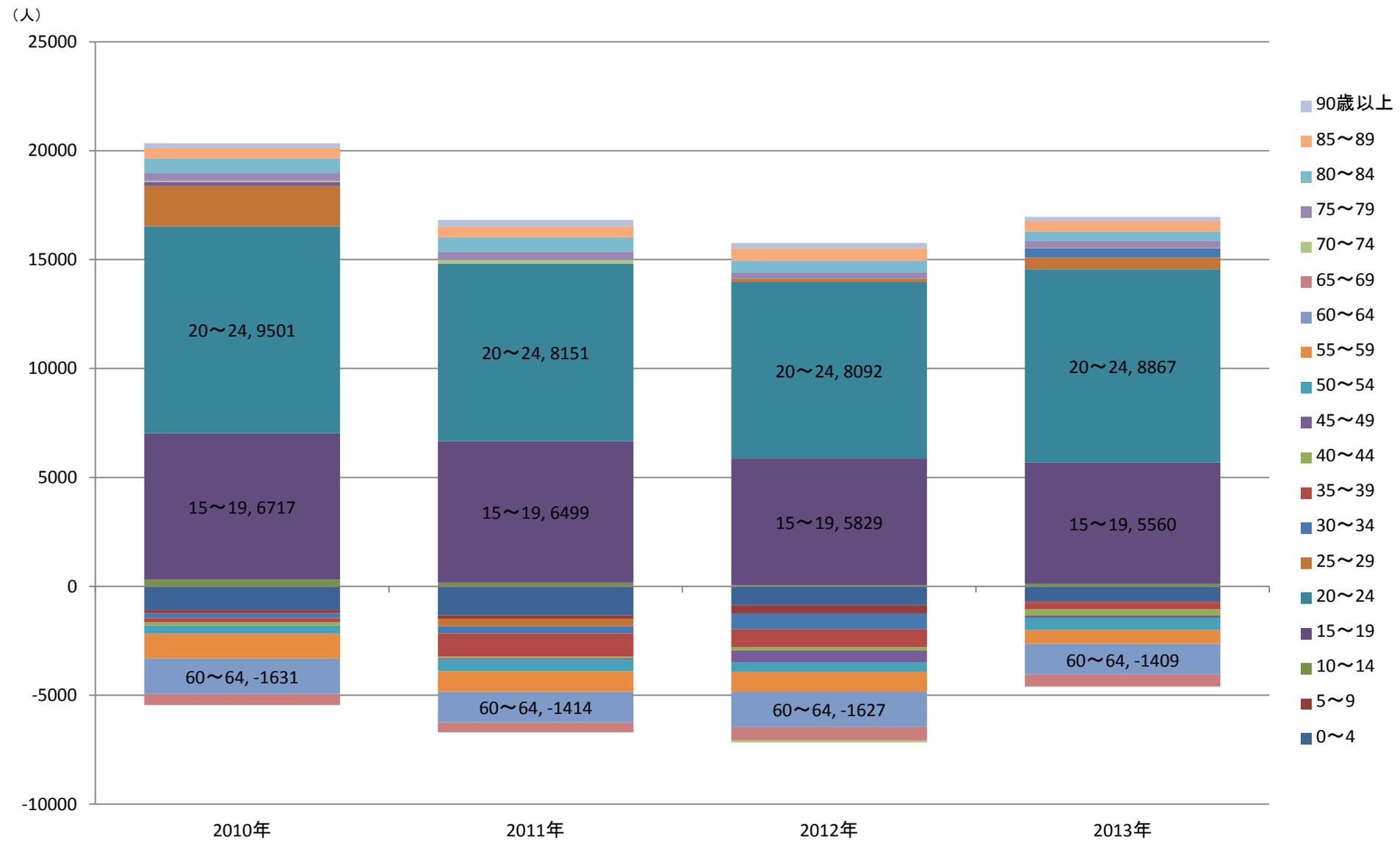


(総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」から内閣官房が推定した数値を基に作成)

### 図3 神奈川県の子年階級別の人口移動状況（2010年～2013年）

**基本目標2**  
**神奈川への新しいひとの**  
**流れを作る**

最近のデータを見ても、15～19歳、20～24歳の若年層を中心に転入超過が続いている。また、60～64歳の層は、転出超過が続いている。

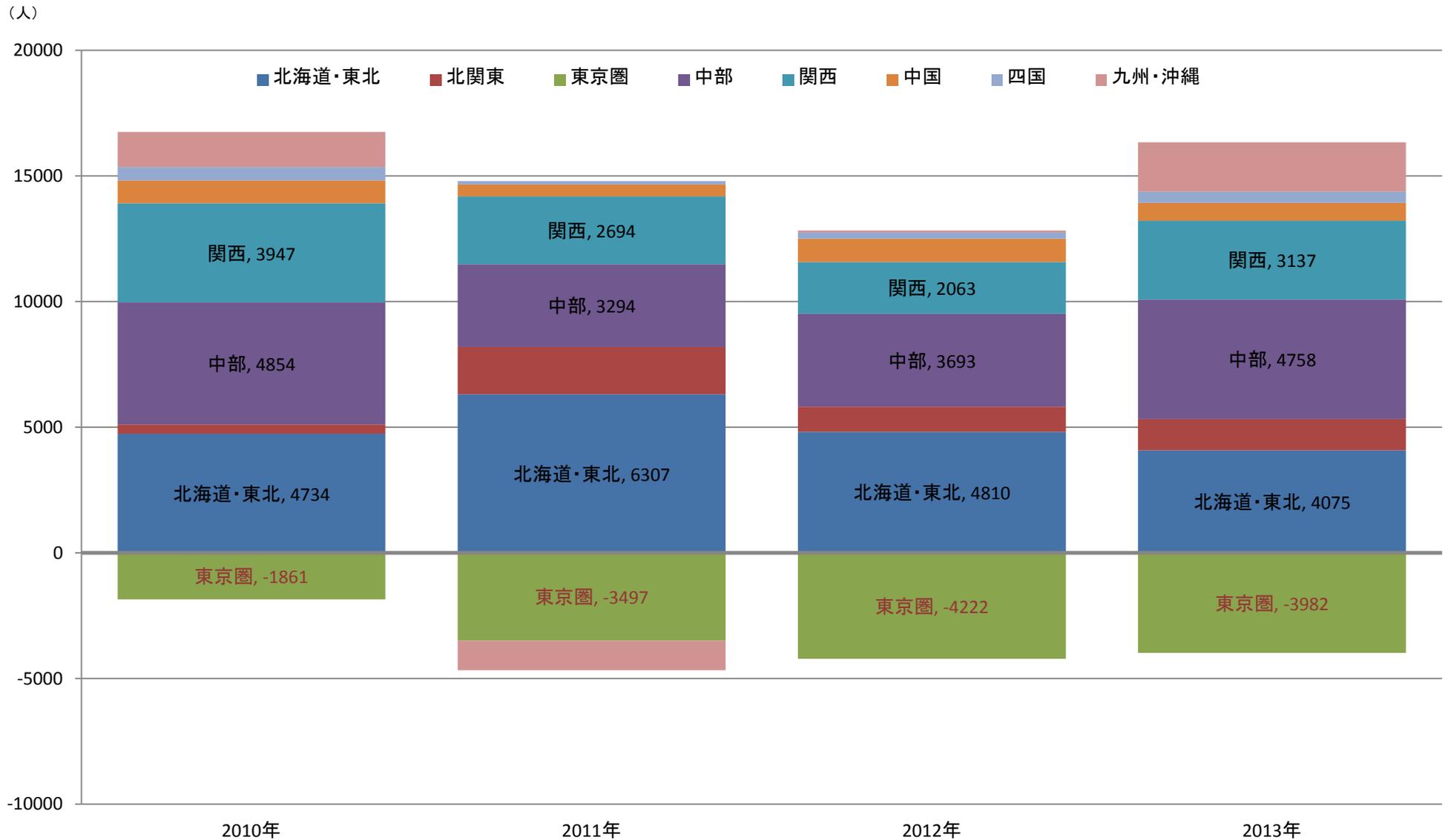


（総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」から作成）

**基本目標2**  
**神奈川への新しいひとの**  
**流れを作る**

# 図4 神奈川県地域ブロック別の人口移動状況

中部や北海道・東北からの転入超過が大きい。東京圏に対しては転出超過となっている。

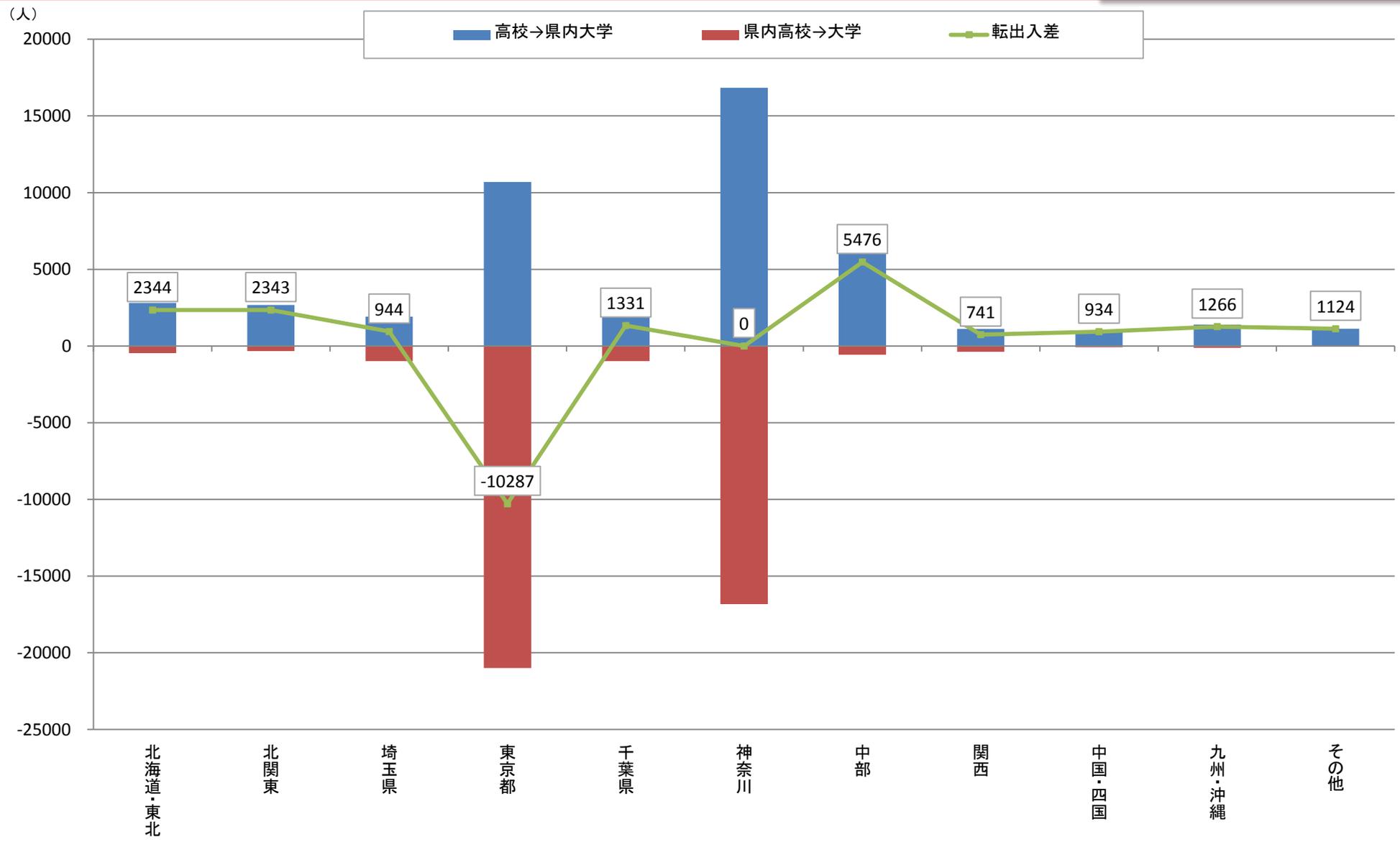


(総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」から作成)

基本目標2  
神奈川への新しいひとの  
流れを作る

### 図5 高校から大学入学にかかる移動

高校生の大学進学に際して、隣接している東京都を除き、すべての地域に対して転入超過となっている。



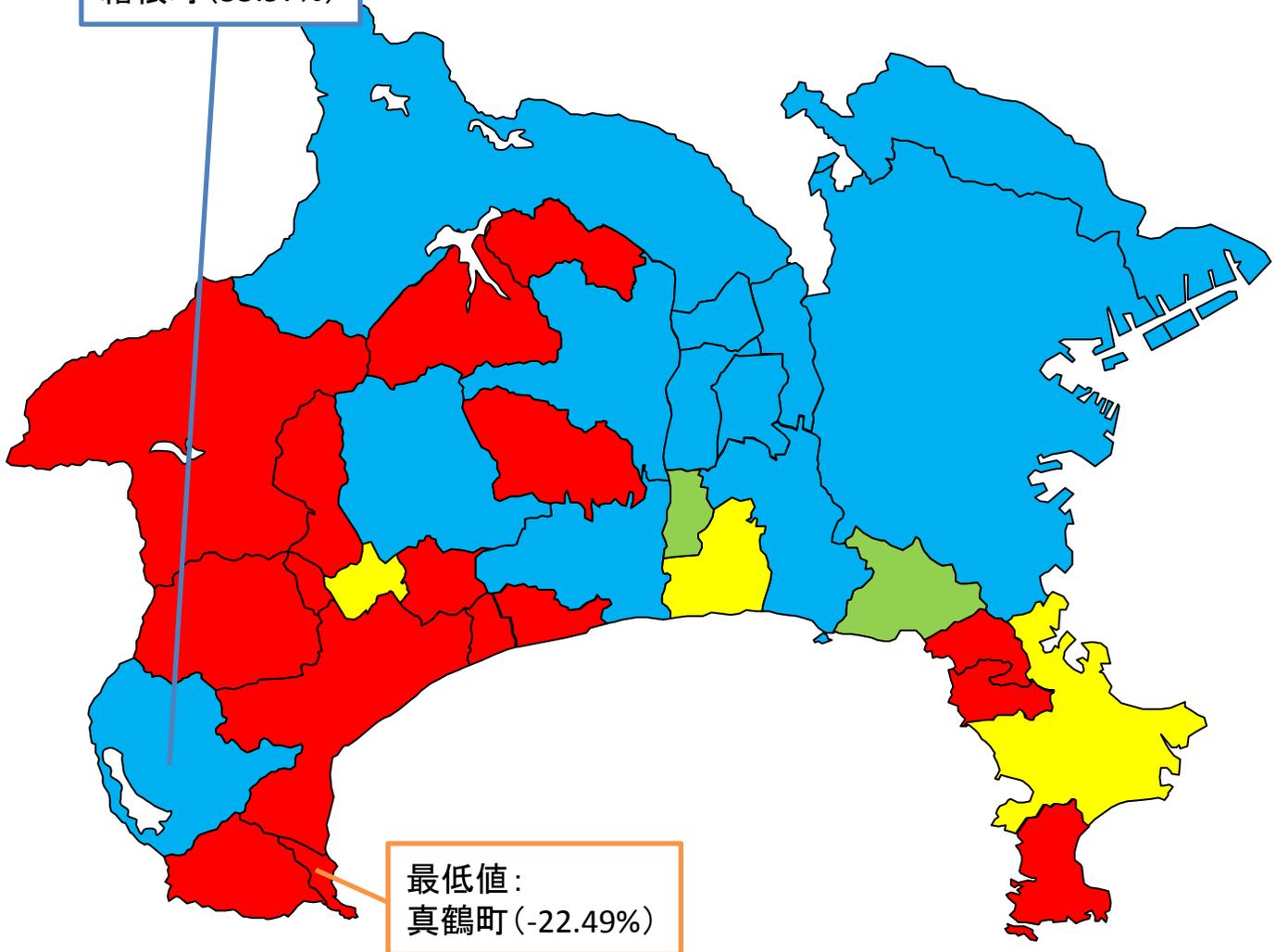
(平成26年度神奈川県学校基本調査から作成)

**基本目標2**  
**神奈川県への新しいひとの**  
**流れを作る**

### 図6 市町村別20-24歳人口の純移動率

一部地域を除いて県西地域、三浦半島地域の純移動率はマイナスである。横浜市、川崎市など県東部や県央・湘南地域の純移動率は高い。

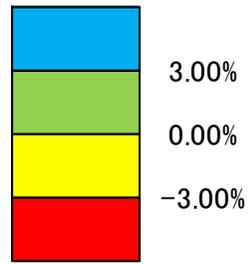
最高値：  
 箱根町 (55.97%)



最低値：  
 真鶴町 (-22.49%)

20-24歳人口の純移動率 (2005-2010)

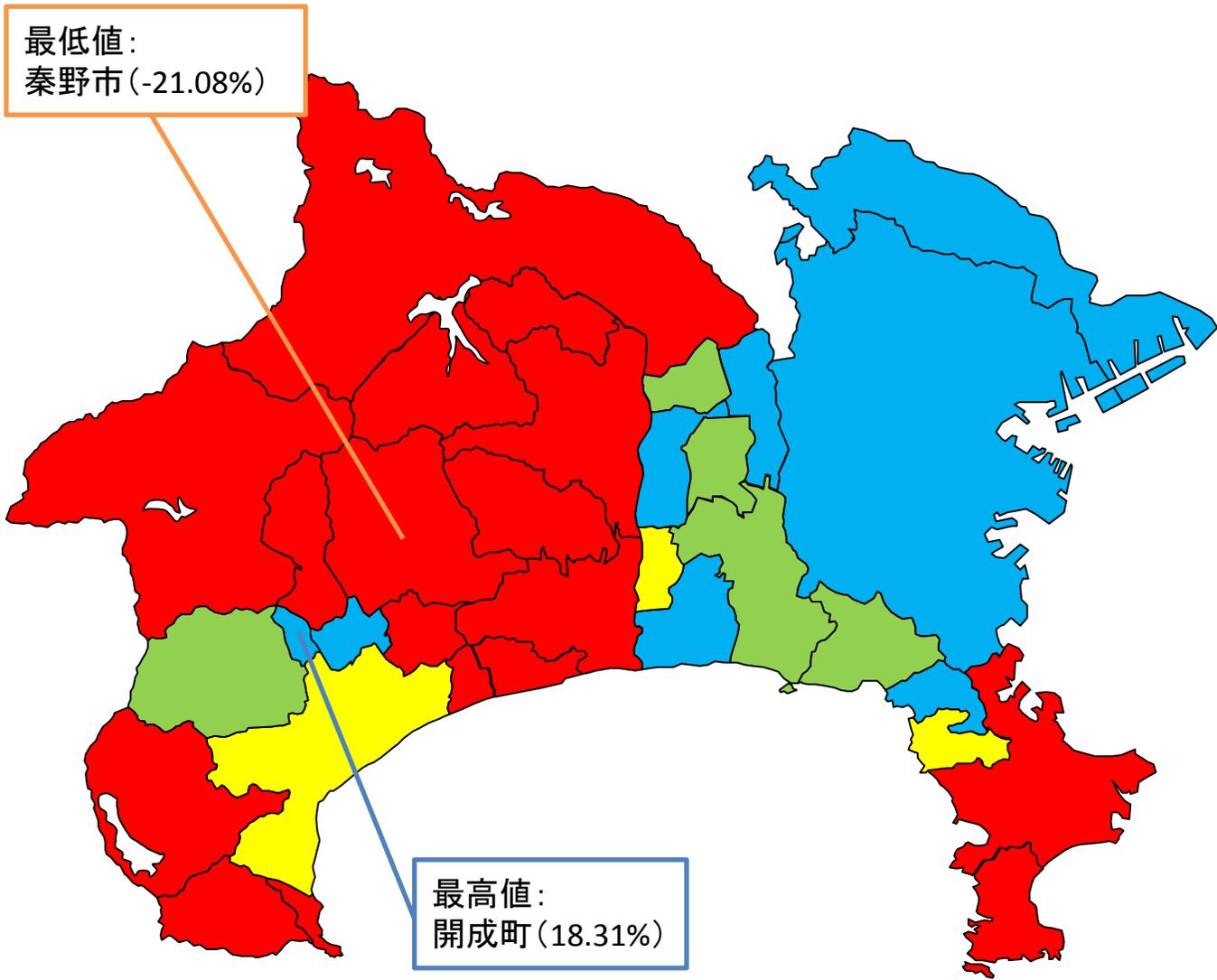
神奈川県	16.61%	葉山町	-16.50%
横浜市	16.59%	寒川町	1.78%
川崎市	46.05%	大磯町	-6.93%
相模原市	18.77%	二宮町	-13.97%
横須賀市	-0.23%	中井町	-8.61%
平塚市	7.66%	大井町	-1.53%
鎌倉市	0.22%	松田町	-10.88%
藤沢市	18.21%	山北町	-19.42%
小田原市	-3.15%	開成町	-3.17%
茅ヶ崎市	-1.47%	箱根町	55.97%
逗子市	-11.27%	真鶴町	-22.49%
三浦市	-16.14%	湯河原町	-19.11%
秦野市	11.40%	愛川町	-7.21%
厚木市	12.28%	清川村	-3.96%
大和市	16.90%		
伊勢原市	14.47%		
海老名市	4.50%		
座間市	8.19%		
南足柄市	-15.34%		
綾瀬市	4.50%		



(総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」から内閣官房が推定した数値を基に作成)

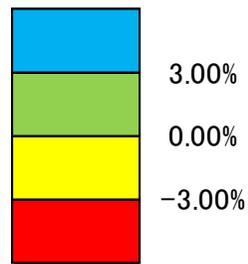
### 図7 市町村別25-34歳人口の純移動率

一部地域を除いて県西地域、三浦半島地域の純移動率はマイナスである。横浜市、川崎市など県東部の純移動率は高い。



25-34歳人口の純移動率(2005-2010)

神奈川県	2.17%	葉山町	-0.82%
横浜市	4.84%	寒川町	-2.55%
川崎市	11.37%	大磯町	-8.34%
相模原市	-7.50%	二宮町	-5.67%
横須賀市	-7.52%	中井町	-9.98%
平塚市	-6.49%	大井町	4.10%
鎌倉市	1.29%	松田町	-16.35%
藤沢市	2.98%	山北町	-14.93%
小田原市	-1.49%	開成町	18.31%
茅ヶ崎市	4.24%	箱根町	-9.90%
逗子市	3.12%	真鶴町	-18.50%
三浦市	-15.25%	湯河原町	-7.24%
秦野市	-21.08%	愛川町	-4.19%
厚木市	-12.02%	清川村	-9.60%
大和市	7.93%		
伊勢原市	-7.57%		
海老名市	4.31%		
座間市	0.45%		
南足柄市	2.20%		
綾瀬市	1.33%		

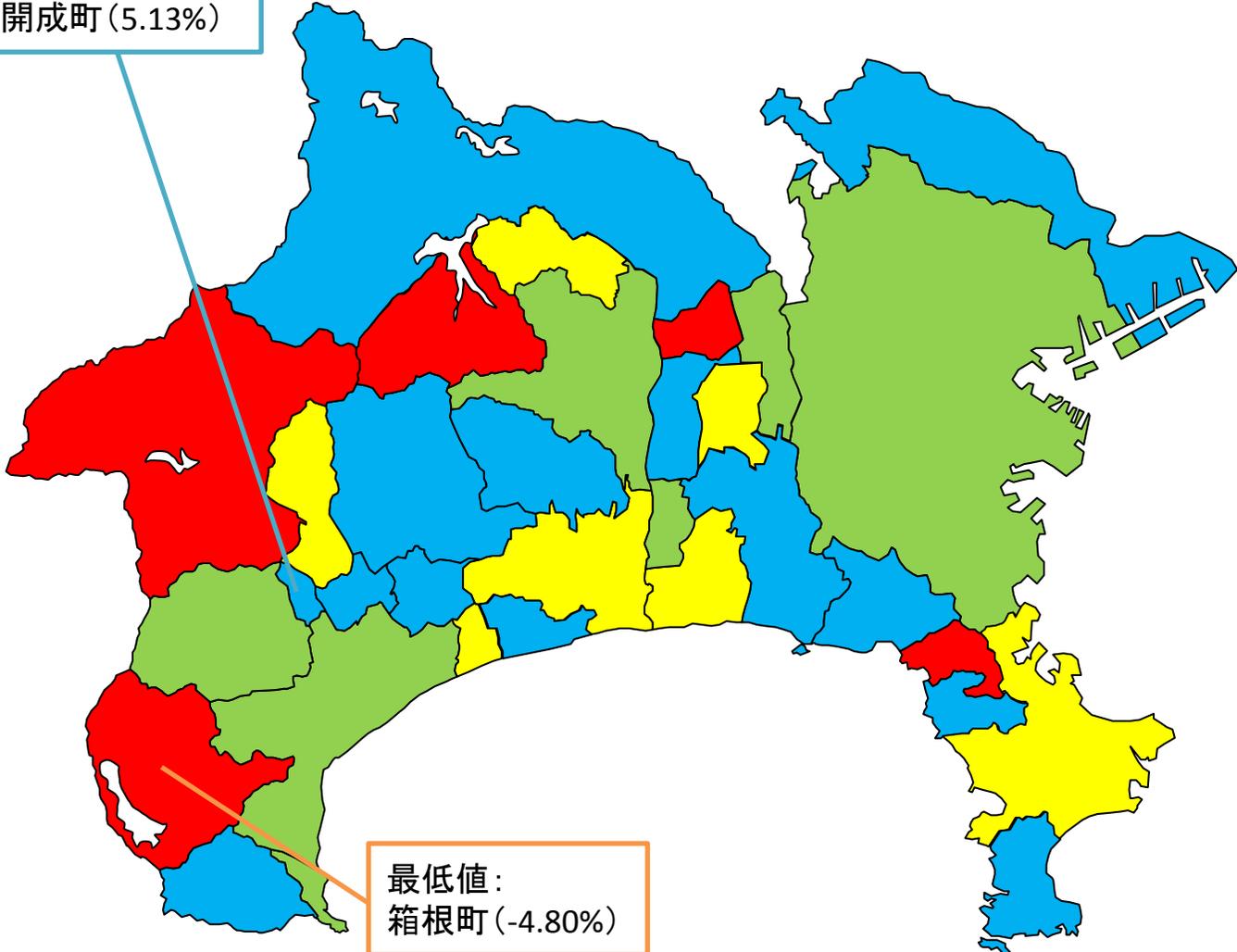


(総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」から内閣官房が推定した数値を基に作成)

**図8 市町村別高齢者(65歳以上人口)の純移動率**

市町村別の高齢者の純移動率については、地域ごとの大きな特徴は見られない。

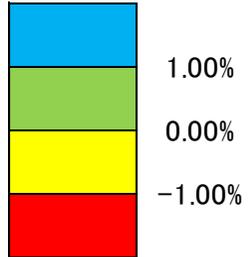
最高値:  
 開成町(5.13%)



最低値:  
 箱根町(-4.80%)

高齢者の純移動率(2005-2010)

神奈川県	0.95%		
横浜市	0.67%	葉山町	2.75%
川崎市	1.73%	寒川町	0.34%
相模原市	2.56%	大磯町	1.59%
横須賀市	-0.10%	二宮町	-0.05%
平塚市	-0.89%	中井町	3.30%
鎌倉市	1.87%	大井町	1.35%
藤沢市	1.78%	松田町	-0.91%
小田原市	0.76%	山北町	-1.91%
茅ヶ崎市	-0.18%	開成町	5.13%
逗子市	-1.61%	箱根町	-4.80%
三浦市	3.25%	真鶴町	0.15%
秦野市	2.97%	湯河原町	2.72%
厚木市	0.06%	愛川町	-0.44%
大和市	0.69%	清川村	-2.06%
伊勢原市	2.34%		
海老名市	2.34%		
座間市	-1.47%		
南足柄市	0.49%		
綾瀬市	-0.49%		

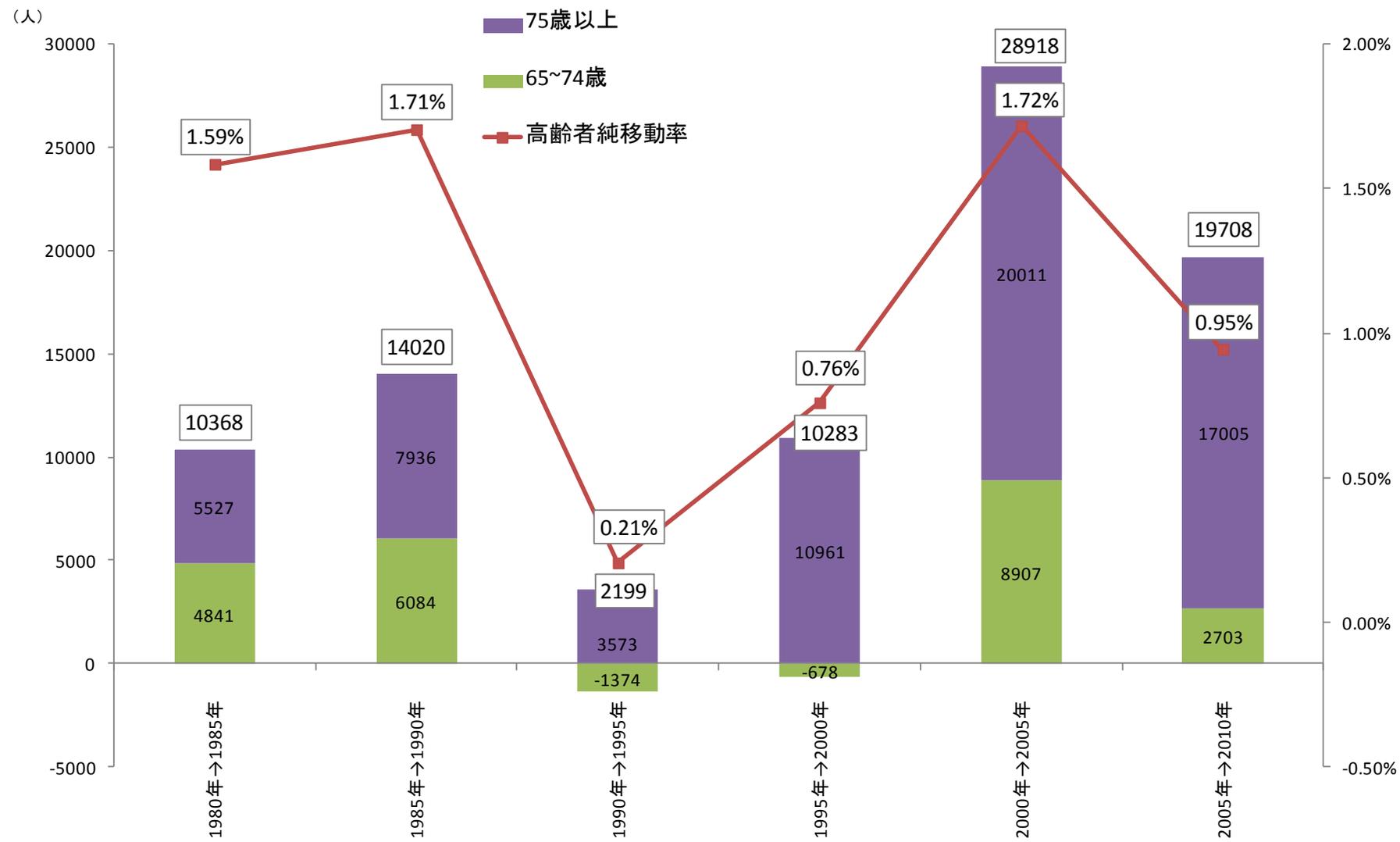


(総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」から内閣官房が推定した数値を基に作成)

# 図9 神奈川県への高齢者の転出入の推移

**基本目標2**  
**神奈川への新しいひとの**  
**流れを作る**

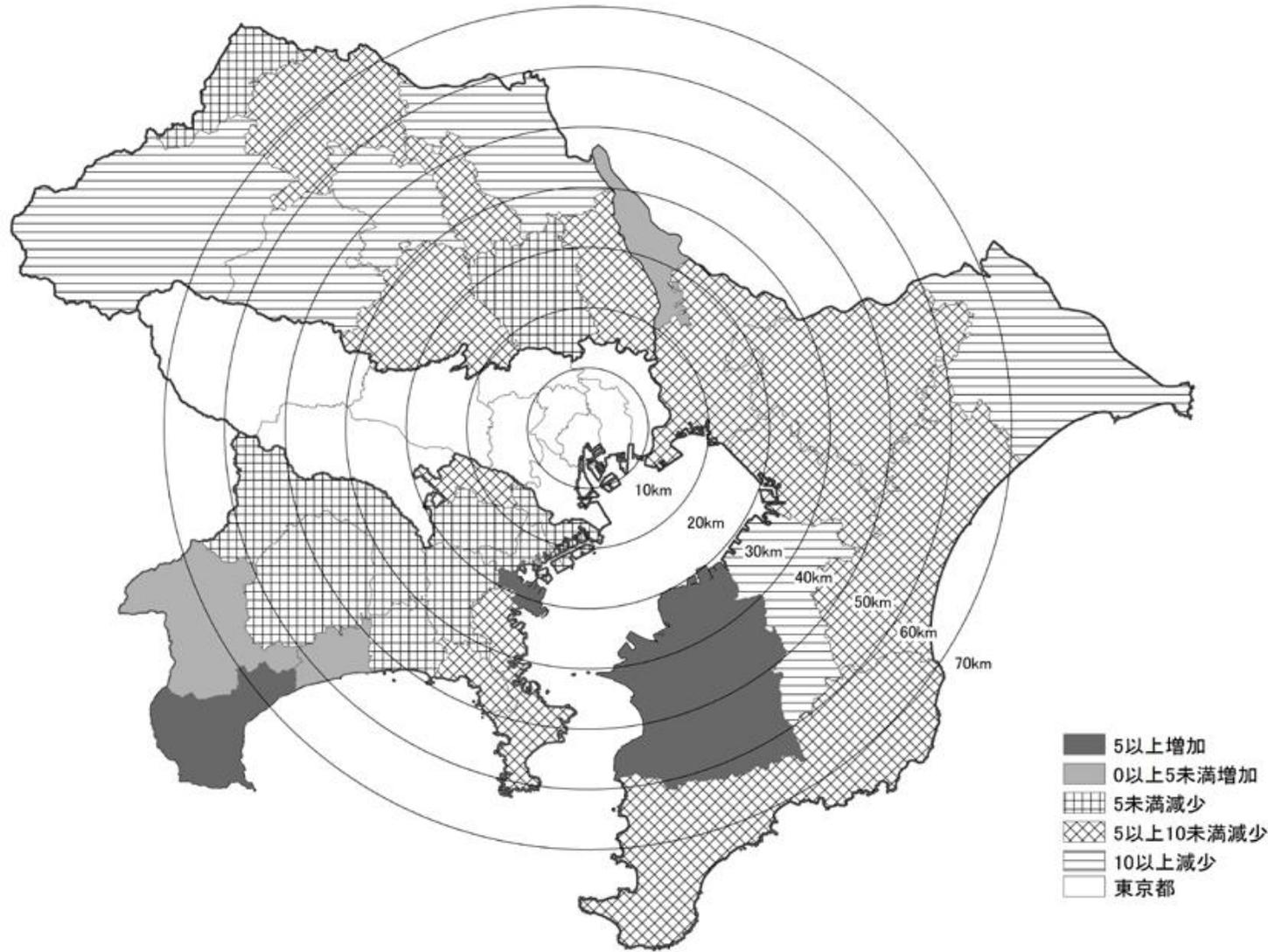
高齢者の純移動率はプラスで推移しており、その中でも特に75歳以上の後期高齢者が転入超過数が増加傾向にある。



(総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」から内閣官房が推定した数値を基に作成)

### 図10 東京都への通勤者数の変化（平成17年～22年 増減率）

東京都への通勤者数が5%以上増加となっているのは、横浜市西区・中区、小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原となっている。



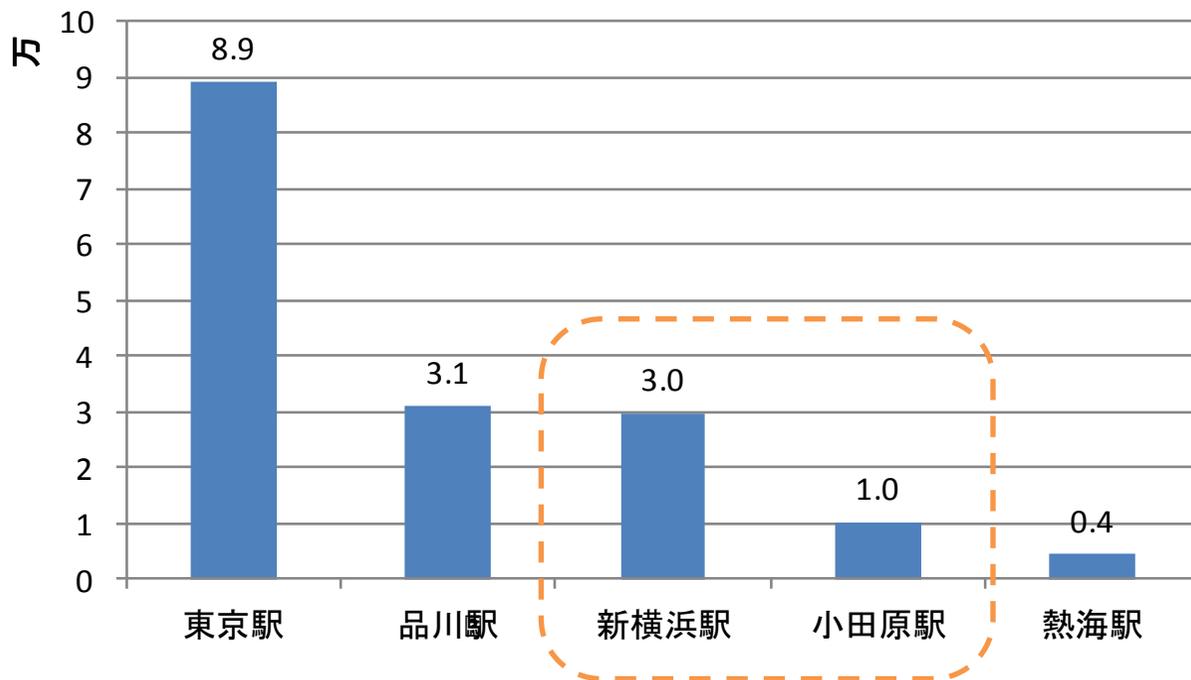
(出所)神奈川県都市計画基礎調査

**基本目標2**  
**神奈川への新しいひとの**  
**流れを作る**

# 図11 東海道新幹線・羽田空港等の利用者数

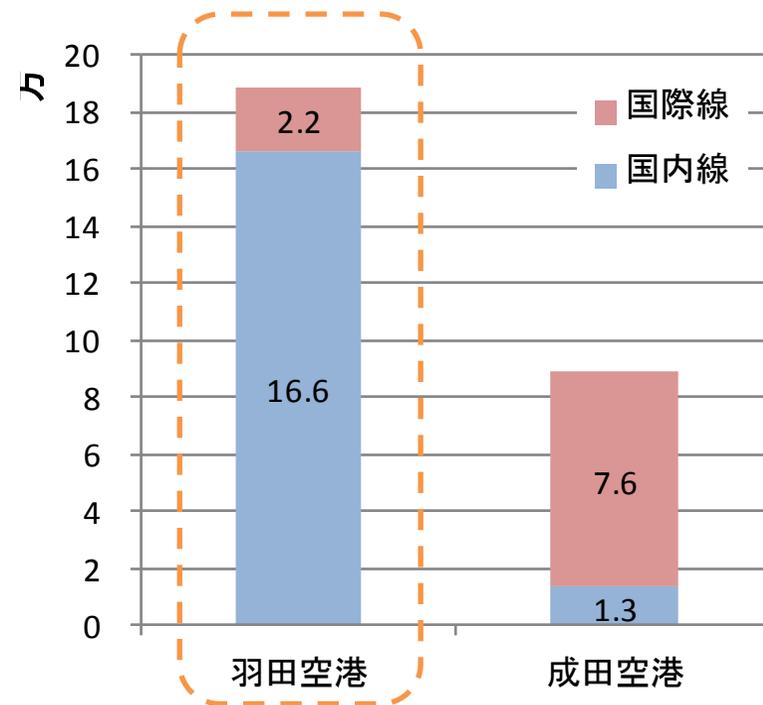
東海道新幹線の神奈川県内の駅の乗降客数は1日平均4万人となっている。また、羽田空港の利用者は1日平均18.8万人で、うち2万人強が国際線利用者となっている。

東海道新幹線の1日平均乗降客数  
 (2013年度)



(出所) JR東海

首都圏空港の1日平均利用者数  
 (2013年度・国内+国際)



(出所) 国土交通省 東京・大阪航空局